

健やかな体	保健・衛生	衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている	87	90	100	昼休みは、ほとんどの生徒が運動場で活動している。例年ならば地域のロードレースにも意欲的に参加し、体力の向上に努めている。衛生管理に関しては保健だよりや掲示物を通して、情報を提供している。食育については、小学校と連携を図り、栄養教諭の指導を各学年で実施している。子ども連による積極的な委員会活動が充実できればと期待している。給食の残食はほとんどない。
	体力向上	早寝・早起き・朝ごはん(基本的生活習慣)が身に付いている	88	89	77	
		体力向上に努めている	92	79	77	
	食育	食に関する教育活動を行っている	88	89	77	
信頼される学校	安全管理	児童生徒の安全に気を配っている	85	95	100	コロナ禍のため健康面に対する安全管理には注意を払ってきた。定期的な各種通信や学校HPを通じて、保護者や地域に情報を提供することは信頼を得る一助になるので今後さらに充実を図る。育友会や地域との連携では、行事が縮小や中止のため地域への参加もできなかった。研修については内容に関する職員アンケートを実施し皆で学べる環境づくりを心がけ資質向上に努めたい。外部での研修機会も大切である。
	情報提供	学校の状況は通信やHP等で知ることができる	87	86	83	
	PTA・地域との連携	学校はPTAや地域との連携がとれている	87	93	92	
	職員資質向上	研修が充実し、資質が向上している			69	
教育環境	環境整備	教育環境が充実し、整備されている	66	85	85	月1回の安全点検、安全衛生推進会議で、報告があった内容に対しては迅速に対応している。職場環境については、職員の声を聞き環境向上につながる方策の知恵を出しあい、改善や改革が必要に応じて行う。
	職場環境	学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる			46	

5 自己評価のまとめ(成果・課題・対策等)

<ul style="list-style-type: none"> ・学校経営に関する領域は、生徒・保護者の達成率は上昇している。校訓等を意識した行事や日常の取組を行うことで、学校経営案が具現化されたつつあるという結果である。しかし、教師から見た組織運営や業務の改善については、分掌数や教師の数のバランス、分掌の兼務等で大きな負担を感じている。人数に見合った校務の見直しが早急に必要である。 ・心の教育に関する領域では今年度は制限されたなかではあったが、人権・平和に関する教育や集会を実施した。学習を通して学んだことをいかに日常生活で活かせるかが大きな鍵である。頭ではわかっているが友人同士になるとその実践力が乏しい。生徒の情操教育に関する共通実践が大切である。 ・確かな学力に関する領域では、家庭学習の習慣が不十分である。アンケート上から三者ともそこは認識しているので、家庭と連携した取組が必要である。まずは学習内容の定着を図るための取組として共通実践できる環境を整えるいく。 ・健やかな体に関する領域では、食育は小学校の栄養教諭の協力を得て各学年で計画的に実施できた。生徒による取組を何かしら手立て立てていきたい。体育の授業だけでなく生徒の昼休みの運動場での過ごし方の様子からも、日見中の特徴として学校全体で体力の向上に努めており、次年度以降も継続する。
--